

令和6年度産業廃棄物処理業者実績報告書 記入要領

1 実績報告書作成上の注意

- 産業廃棄物処理業者実績報告書とは、産業廃棄物処理業の許可を有している事業者に対して前年度1年間における、柏市廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則第22条の規定により、報告を求めるものです。

したがって、今回は前年度、すなわち令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間の産業廃棄物の処分の実績を、別添の「産業廃棄物の処分実績報告書」の記入表1～3の該当個所に記入し、提出してください。

(1) 提出方法

・電子申請による提出

電子申請システム Logo フォームのホームページ (以下の URL) にアクセスし、必要事項を御入力いただき、報告書 (記入表 1, 2, 3) を添付し、提出してください。

URL: <https://logoform.jp/form/Mx28/221521>

※詳細の申請方法は別添資料を御確認ください。

・窓口または郵送での提出

記入表 1 のみを紙面により提出し、記入表 2, 3 は CD により提出してください。なお、CD を利用できない場合は、紙面または電子申請で提出してください。

※電子データはエクセルファイルもしくは CSV ファイルで提出してください (PDF 不可)。

(2) 提出書類

提出書類は、記入表 1, 2, 3 です。

※紙面提出の場合、記入表 1, 2, 3 に、それぞれ記入しきれない場合は、コピーして記入してください。

(3) 記入の対象となる産業廃棄物の処分の実績

産業廃棄物の **処分実績の報告対象** については、**令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間**に取り扱った量が対象となります。

(4) 産業廃棄物の取扱量の単位

実績報告書に記入する産業廃棄物の取扱量は、**全てトン (t) 単位で報告してください。**

なお、**取扱量を立方メートル (m³) 等で把握している場合は、下表を参考にしてトン (t) 単位に換算した数量で報告してください。**

参考：廃棄物種類別のかさ重量等換算方法

産業廃棄物の種類	1 m ³ 当たりの重量 (t / m ³)	産業廃棄物の種類	1 m ³ 当たりの重量 (t / m ³)
燃え殻	1. 1 4	動物の糞尿	1. 0 0
汚泥	1. 1 0	動物の死体	1. 0 0
廃油	0. 9 0	ばいじん	1. 2 6
廃酸	1. 2 5	13号廃棄物	1. 0 0
廃アルカリ	1. 1 3	感染性廃棄物	0. 3 0
廃プラ (廃タイヤ)	0. 3 5	廃 PCB 等	1. 0 0
紙くず (ダンボール)	0. 3 0	PCB 汚染物	1. 0 0
木くず	0. 5 5	PCB 処理物	1. 0 0
繊維くず	0. 1 2	廃石綿等	0. 3 0
動植物性残さ	1. 0 0		
動物系固形不要物	1. 0 0		
ゴムくず	0. 5 2		
金属くず	1. 1 3		
ガラス・コンクリート・陶磁器	1. 0 0		
鋳さい	1. 9 3		
がれき類	1. 4 8		

2 記入方法

■ 次ページ以降、記入表ごとに記入方法について説明します。

記入方法がどうしてもわからない、または特殊な事例であって記入例に当てはまらないといった場合には、以下にお問い合わせください。

(問い合わせ先)

柏市環境部産業廃棄物対策課 許可担当 TEL 04-7167-1696

(1) 記入表 1

- ・処分実績がない場合でも、必ず提出してください。

(2) 記入表 2 (受託実績報告書)

- ・受託した産業廃棄物の実績報告書です。
- ・(紙面提出の場合) 1枚で記入しきれない場合は、記入表2をコピーして使用してください。
- ・受託実績がない場合には、右上余白に「実績なし」と記入のうえ提出してください。
- ・記入上の注意(別紙記入例1, 2, 3参照)
 - ① 右上に必ず業者名を記入する。
 - ② 「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類」欄には、別紙「産業廃棄物種類コード表、特別管理産業廃棄物種類コード表、有害産業廃棄物種類コード表」を参照して、3桁の数字で記入する。
 - ③ 「発生場所都道府県コード」欄には、発生場所を別紙「都道府県コード表」を参照して、2桁の数字で記入する。
なお、発生場所が柏市の区域内のものは、千葉県(コード12)ではなく、柏市内(コード99)を記入してください。
 - ④ 「受託量(t)」欄には、受託した産業廃棄物の量をトン(t)単位で記入する。
なお、立方メートル(m³)、リットル(L)等から換算する場合には(換算方法は前ページ参照)、小数点以下3桁目を四捨五入して、小数点以下2桁で記入する。
 - ⑤ 排出事業者から受託した処分業務の全部又は一部を他の処分業者に再委託した場合には、「再委託者」欄に再委託した処分業者の事業者名、許可番号及び委託量を記入するとともに、「都道府県コード」欄に処理施設の所在する都道府県を別紙「都道府県コード表」を参照して2桁の数字で記入する。
 - ⑥ 中間処分、最終処分の許可を両方持っている事業者のみ、記入表2の「受入物の中間処分と最終処分の区分」欄に、受入廃棄物の処分目的(中間処分、最終処分)を示す「中間」もしくは「最終」と記入してください。
 - ⑦ 記入表が数ページになる場合、総量については最終ページのみに全ページの合計を記入してください。

(3) 記入表 3 (処分実績報告書)

- ・受託して処分をした産業廃棄物の実績報告書です。
- ・(紙面提出の場合) 1枚で記入しきれない場合は、記入表3をコピーして使用してください。
- ・処分業の実績がない場合には、用紙の右上余白に「実績なし」と記入のうえ提出してください。
- ・記入上の注意(別紙記入例4, 5, 6参照)
 - ① 右上に必ず業者名を記入する。
 - ② 「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類」欄には、別紙「産業廃棄物種類コード表、特別管理産業廃棄物種類コード表、有害産業廃棄物種類コード表」を参照して、3桁の数字で記入する。
 - ③ 「処分量(t)」欄には、実際に処分した産業廃棄物の量をトン(t)単位で記入する。
なお、立方メートル(m³)、リットル(L)等から換算する場合には(換算方法は前ページ参照)、小数点以下3桁目を四捨五入して、小数点以下2桁まで記入する。
 - ④ 「処分コード」欄には、自らが行った処分方法を、別紙「処分コード表」を参照して2桁の数字で記入する。なお、複数の処分方法を行った場合は、処理フロー順に従って記入する。
 - ⑤ 産業廃棄物管理票交付等状況報告書(毎年基本的に6月30日が提出期限)の提出状況を記載してください。提出済みの場合は提出年月日(電子届出の場合は送信日)を記載し、提出予定の場合は予定日を記載してください。また、管理票を交付していない場合は「交付なし」に○をつけてください。
 - ⑥ 記入表が数ページになる場合、総量については最終ページのみに全ページの合計を記入してください。